

# Mランドニュース Vol. 104

丹波ささ山校 平成27年11月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県篠山市池上569  
 TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹  
<http://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

## 《今月の言葉》

人を喜ばせ続けて「誰かの役に立っている」と思うことで、自分に存在感が出てきます。

(株)タニサケ会長 松岡 浩著  
 「乾いた雑巾を絞る」文中より

アンパンマンになろう！

十月十七日(土)の正午から約一時間、「篠山ジュニアホッケークラブ」の児童、保護者、コーチ、社会人チームの九十八名の皆さまと共に、Mランドフェスタ二〇一五「ささ山の街を一〇〇〇人で大そうじ」に先立って、篠山総合スポーツセンター周辺及び、多目的人工芝コートをそうじさせていただきました。十一月八日(日)のMランドフェスタは、試合のため参加できないとのことでした

が、私たちの趣旨をご理解いただき、「この日ならできませよー」と、クラブにたずさわるすべての人々が、快く取り組んでいただいたことに心から感謝いたします。

開会式のあと、一斉に自分ができるそうじを始めました。自分の背丈よりも長いほうきを持ち、勇ましい顔をして、ごみを掃いてくれる保育園児。お互いを気づかいながら黙々と草引きする親子。クラブ倉庫の道具を全部出して、そうじをする高学年のメンバーと監督。一所懸命そうじされる皆さんの

姿に、そうじの素晴らしさをあらためて感じました。



周辺のゴミ拾いの様子

閉会式での感想発表は、「もっとしたかった」、「小さなゴミに気付けるようになった」、「そうじをして気持ちよくなった」など、笑顔で話

されている姿がとても印象的でした。



「ささやまが好き」のタオルを掲げ！

## 11月8日(日) 「1000人で大そうじ」 参加者 大募集!

Mランドフェスタ2015  
 イベント盛り沢山!  
 丹波一ガ無料配布  
 ※人数限定  
 カーパフォーマンス  
 屋台・大抽選会もあるよ!  
 お申込みはお電話またはホームページから!



一方、二十五日(日)には篠山市サッカー協会主催で、少年サッカー大会が西紀運動公園(キリンビバレッジラウンド)で行われました。この大会でも弊社のイベントの趣旨に賛同いただき、試合終了後、約二〇〇名もの方が周辺道路の落ち葉やごみ拾いに汗を流してくださいました。これだけの人々が心を一つにして行動される姿から、ある言葉を思い出しました。「一人の百歩より、百人の一步」。十年前から始まった小さなうねりが、大き

な波へと変っていくのを目の当たりにしました。そうじを通して、ご家族、仲間や監督、コーチ、そして日頃使用している道具や施設に感謝する心。自分よりも相手に対する思いやりの心や、譲る心をみんなが持つ大切さ。また、うまくいかないことがあっても「心配しなくていいよ」と言える人。そんなアンパンマンのような人が一人でも多くなれば、日本はもっともってやさしい国になります。



ボクらもなるぞ! アンパンマン

これからも、皆さまと一緒に「やさしい篠山」を創っていきたく考えています。ぜひ、「一〇〇〇人で大そうじ」、皆さまもご参加ください。  
 フェスタ事務局 南勝 宏幸

ユニトピアささやま  
トイレ掃除に学ぶ会

十月十三日、ユニトピアささやま様において、各部リーダー十二名様に、トイレ掃除に学ぶ会を実施させていただきました。ユニトピアささやま様は昭和四十八年に松下電器産業労働組合(当時)が、「自然と共に生きることの喜び、大切さを感じ、深い友情で結ばれる理想郷に」との願いを込めて創られた、総合レジャー施設です。

冒頭、支配人様が、過去にMランドフェスタとライオンズクラブによる二回のトイレ掃除を自ら体験し、掃除から学ぶことの大きさを話され、続いて私より教習所がなぜトイレ掃除をしているか、どういう取り組みをしているか、また掃除道具の意味や使い方を説明しました。

にも気付かれ、時間が経つのも忘れ次々と磨いておられました。また、不具合があるときみなさんと相談し問題解決されているようすは、まさに仕事の上でも同じことで、チームワークの良さを傍らで感じさせていただきました。



細かな所にこだわって

予定時間になり、掃除なかばで終えた私の班の方々が担当しているトイレをご覧になり「うわー!」と、驚かれています。磨かれた便器、整然と置かれた備品。それは以前のトイレの明るさと、空気の清々しさがまったく変わっていたからでした。

感想発表では  
・汚れていたことすら気付かなかった。  
・時間が足りない。  
・続けて行くのも大変だ。  
・これだけ変わるものかと思った。  
など、お話しされました。皆さん熱心に取り組んで

くださり、個々に掃除から学ばれていました。



参加者全員、笑顔で!

帰り際には、担当の方と「機会があれば、また一緒にしましょう」とお別れしました。篠山にまたトイレ掃除が広まったことに感謝いたします。 井本 徹

無事故を願って

十月六日(火)、篠山社会福祉協議会で運転を担当される方を対象に、研修会を実施させていただきました。

高齢者や身体障害者の送迎をされる方々で、運転経験も豊富なプロドライバーですが、更なる交通安全意識を持ち、毎年弊社において研修していただいていることに敬意を表します。

今回の研修はAT車におけるアクセルとブレーキの踏み間違えによる危険性、A

BSやポンピングブレーキといった効果的なブレーキの使い方など、車を運転する上で最も大切なブレーキについて考えていただきました。



段差を使って踏み替え体験

ABSという機能は知っていても実際に作動させた事はないという方に、急ブレーキをかけるという危険を体験することで、今まで以上に安全運転の大切さを実感していただけたと思います。

進歩し続ける自動車の性能に全て頼るのではなく、その性能を理解し上手に付き合ひ、あくまで車を動かすのは「人」であることを伝えさせていただきました。お客様への信頼を裏切らないため、「心」で運転するプロドライバーとしての意識を持ち、また、模範ドライバーとして地域で活躍していただけたことと思います。

九日(金)には、高齢ドライバーの事故が増加する中、篠山シルバー人材センター会員の皆さまと共に交通安全

教室を開催させていただきました。運転経験が豊富でも身体機能が低下していると操作に欠かせない手足の動き、また年齢に伴う身体の硬さから、確認などに影響が出てくるものです。

今回は体カテストを行い、自分自身の現在の身体機能を自覚し、それに合わせた運転をする。また、身体機能が低下しないよう、普段から適度な運動の必要性を理解していただくことを目的に行いました。そして、教習コースでは、見えない所への目配りを課題に入れ、ルールに従った運転ができていますか確認していただきました。



講習後のワンポイントアドバイス

皆さん興味深く質問されるなど真剣に取り組まれ、さらに充実した交通安全教室となるよう、私たちも日々研鑽が必要であるとあらためて感じさせていただきました。

編集後記

十月に入って、教習を終えた事務所では、「Mランドフェスタ一〇〇〇人で大そうじ」に向けて、連日スタッフが準備に追われています。

「毎年、参加していますよ」と言われる地元の方のお話を聞くと、私も元気をいただきます。今年も「掃除をする」たったこれだけのために、東は千葉県から西は岡山県より卒業生が帰ってきます。また、多くの地域の方々にもご参加をいただきます。「良くしたい」というみんなの思いが一つになる感動を、今年も共有できれば幸いです。(徹)

「掃除に学ぶ会」

十一月二十三日(祝)  
午前八時〜九時  
篠山中学校 運動場トイレ  
で行います。